



9月17日、今年4月に入社した新卒（学卒）フォローアップ研修（代々木・オリンピックセンター）にてすまいる高井戸・春山陽子センター長と鈴木さくら職員を講師に迎えました



日頃は、社会福祉法人いたるセンターに多大なるご支援ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。さて私こと谷山勝崇は、令和3年6月29日の定時評議員会、および臨時理事会での決議・承認を経て、谷山哲浩の後任として社会福祉法人いたるセンター理事長に就任いたしました。



理事長 谷山 勝崇

『仲間』はよい仲間には恵まれているか、社内での人間関係はうまくいっているか、です。『対価』は自分の仕事量や、達成した結果や、役割にあった給与がもらえているか、です。正直、私は3つすべて揃う法人はほとんど存在しないと思っています。

また、今後はもっと事業部門での横の連携も取っていただける法人にできたらと思っています。当然、組織なので仲良しクラブになつては良くないですが、事業部門で頼りあつて、協力し合つて、認め合つて、指摘し合える、そんな関係づくりができればと思っています。

私は仕事をやる上で、3つの軸を大事にしています。それは、どんな業種でも当てはまることだと思っていますが、『やりがい』と『仲間』、そして『対価』です。

いたるセンターの主人公は、あくまでもご利用者様と職員のみなさんであり、現場であるべきだと思います。

社会福祉法人いたるセンター 理事長就任 挨拶

社会福祉法人いたるセンター 理事長 谷山 勝崇

目次 contents

- 01** 社会福祉法人いたるセンター 理事長就任 挨拶 谷山勝崇理事長
- 02** 事業所通信
- 03** 各事業部から
 - * 阿佐谷福祉工房
 - * あげぼの作業所
 - * 目黒本町福祉工房
 - * イタール成城
 - * パン工房ブクブク
 - * 包括ケアセンター・グループホーム
 - * サポートウイズ
 - * クローバー・マルコ
 - * すまいる高井戸
 - * ビヨビヨおうちえん
 - * SDGs推進室
- 04** 令和3年度 第2回職員研修、8月28日に開催。採用関連情報

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円（何口でも可）
郵便振り込み 001107128992
（間）330927346 事務局山本まで

各事業部から

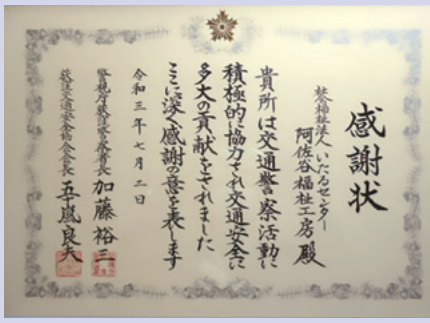
事業所 通信



阿佐谷福祉工房

施設長 池田 佳津男

コロナ禍が続くなか、感染防止による制限が多い状況でご利用者様には何かとご不便をおかけする日々が続いています。令和3年度



萩窪警察署長より交通安全活動の感謝状を授与

上期は生活介護にて1名、就労継続支援B型にて2名のご利用者様に新たに通所して頂いています。

7月2日に萩窪警察署の加藤署長より阿佐谷福祉工房の交通安全活動に対する感謝状を頂戴致しました。これからもより一層交通安全への意識を高め運営をして参る所存です。今後も新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら安心安全な運営に努めたいと思います。

あけぼの作業所

施設長 高木 知子



現在、あけぼの作業所では、新型コロナウイルス感染症の流行を背景に、作業内容の検討が余儀なくされています。パンフレット、情報誌等の封入封緘から発送をメインの作業にしていたグループは、ほとんど仕事がないのが現状です。アナログからデジタル社会への移行で、今後同じ作業を継続することは難しいかもしれません。

カレー缶等の製缶作業を行っているグループは、おうち時間の増加から、家庭で作る本格的カレーのスパイスセット作業の受注で繁忙、休日出勤で対応しています。全職員が各々のグループでスパイ

スの作業を行い、昨年と同じ工賃水準が維持できる予定です。



職員全員が力を合わせ、スパイスセット作業を行なっています

目黒本町福祉工房

施設長 阿久津 庄司

令和3年10月1日より目黒本町福祉工房施設長に就任しました阿久津庄司と申します。

平成30年7月以来3年ぶりの施設長復帰となります。前任の森川正施設長は、親の介護によりやむなく職を離れることになってしまいました。彼の想いもしっかり引き継いで事業運営に精進してまいりたいと思います。

目黒本町福祉工房は、平成24年度に指定管理事業者として事業に携わり、今年で10年目を迎えています。新型コロナウイルスという見えない敵と戦いながらも、ご利用者様が日々満足感を得られる

ように職員一同全力でご支援させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

イタール成城

施設長 五木田 義之

イタール成城ではこの約1ヶ月、今般の新型コロナウイルスに打ちのめされています。約2週間に一度のペースでご利用関係者がこのウイルスに侵され、その度に施設内社会的検査を実施、ご利用者様ご家族並びに支援関係者には結果が判明するまで、利用自主自粛のお願いをするの繰り返しで、通常の利用もなかなか再開出来ずに苦しい日々です。

しかしながら、ご利用者様ご家族関係者の皆さまには、社会的調整をして頂きながら臨機にご対応いただき、また現場の職員各位には事業継続に体を張って支えてくださり、皆さまに感謝の念が絶えません。お陰様でクラスターを避けることが出来ています。直接申し上げたいところですが、書面にてご容赦ください。制限がある中でも出来ないこと探しては無く、出

来ること探していくことを利用者様・職員関係者とともに味わいながら日々過ごしていきたいと思えます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

パン工房プクプク

統括リーダー 池田史暢

本年4月よりチョコ事業部からのご利用者様も加わり、新規利用者様も含め21名となりました。製造・販売それぞれの部署で日々業務に携わっていただいております。活気に満ちた職場です。

店舗では、二次加工品の新製品をお買い求めになるお客様が、お昼前後にご来店することが多いです。保育園の給食関係はコロナ禍にもかかわらず、多くの発注をいただいております。現在、杉並区内90事業所様とお取引をさせていただいており、中野区や世田谷区からの保育事業所様にも納品を行っています。

一方、外販活動は未だにコロナ前の状態には戻っておりません。阿佐ヶ谷駅高架下にある「にぎやかな風」の店舗前にて販売を行っています。売り上げは多くありませんが、常連客の方もいらっしゃり地域に根差した展開になってきたと

感じております。
今後もパン作りを通じた就労支援活動を、しっかりと行っていきたく存じます。

包括ケアセンター・

グループホーム

センター長 白瀧 則男

新型コロナウイルス感染症についてはグループホーム事業部が一番多く感染者を出し、その影響を受けています。そのため、8月9月の残業代は通常の3倍にまで跳ね上がっています。

私自身感染者の対応をした後に体調を崩し検査したところ陽性と判定され、自宅待機しながら保健所と入院先を探しました。下痢と筋肉痛、呼吸困難で食欲は全くありませんでした。幸いにも8月27日の午前中にJR東京総合病院に入院することができ、3日間は身体的にきつく最悪の状態も考えましたが、4日目から楽になり食欲も出てきました。食事は毎食弁当でしたがおいしかったです。血中酸素飽和度が90〜94%と安定しなかったのが19日間の入院になったと思います。
今回、入院してみても医師・看護師は本当に大変だということを実

感じました。看護師はとにかく身体中が汗だらけになるのがつらいと話してくれました。

サポートウイズ

マネジャー 塚田 充昭



サポートウイズは、「高齢計画相談部門」「医療提供部門」「地域生活支援部門」「障がい計画相談部門」の各事業を同一拠点とし、障がいと高齢分野の相談からサービス計画作成までの連携、ケアマネジメントプロセスから必要なサービスの実行までワンストップのシームレスな連携を実現させるための「総合相談支援センター」として活動しております。

そして今後は、特にご利用者様の高齢化・重度化への対応を強化するために「相談員のハイブリッド化」を推進していきたく考えております。従来の計画相談は、障がいは相談支援専門員、高齢者は介護支援専門員と分けられていましたが、その両方の資格や知識・情報を持っている相談員を育成し、相談員同士が共有していくような仕組みづくりのことを指します。
今後もサポートウイズは、ご

利用者様のQOLの向上を目的とし、地域の皆様方にご利用されるサービスの提供を目指してまいります。

クローバー・マルコ

所長代理 仙石 宏樹

短期入所クローバー・マルコではコロナ禍が継続する中、ご利用者様の利用中の過ごし方について通常のご利用とは異なる過ごし方をしていただいております。

送迎時は必ず体温を測っていただき、体温の異常がないかを確認させていただいてから乗車していただきます。食事の時は個別にお部屋で食事をとっていただいております。また、余暇の時間にスクリーンで映像等を楽しんでいただくときも、時間を決めてなるべく個別に視聴していただいております。
こうした感染症対策に対する取り組みが過剰に感じられる方もおられることと思います。ご利用者様の皆様に安全に安心してご利用していただくことを事業運営の要としておりますので、コロナ禍が収束するま

で皆様には不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

すまいる高井戸

センター長 春山 陽子

すまいる高井戸は、令和3年度、杉並区より緊急時コーディネーターの事業を委託されました。これは、障がいのある方の介護をご家族が病気や死亡などで適切にできなくなった時のために、事前に準備をするため「緊急時対応計画」を作成し、登録・相談等をし、緊急時に支援者が連携して対応できるようにする国の地域生活支援拠点等の政策の一つです。

「緊急時対応計画」は、4月に開設した基幹相談支援センターと相談し、すまいると特定相談支援事業所が作成し、対応します。そのためには、杉並に、緊急シヨートステイや緊急時に利用できるヘルパーの事業所などの受入れ体制が必要です。法人の事業所も含め、多くの事業所が支え合うネットワーク構築が求められています。

ピヨピヨおうちえん

マネジャー 大上 茂樹

コロナ禍という事で昨年は長期



ピヨピヨおうちえん荻窪駅前掲示板上で、保育活動の様子を地域の皆様にお伝えしています。

の休園や園の行事を中止するなど活動を制限していましたが、今年には感染防止対策を徹底する中で少しずつ活動の幅を広げられました。入園お祝い会、子どもの日、七夕等子ども達が大好きな行事は保護者の皆さまのご参加を制限しながら実施しています。また、駅前園ではボランティアの受入れも再開しました。
保育園見学を希望される保護者の方も人数を制限しながらお受入しています。保育園の活動を掲示板で発信しておりますが、近隣の方が足を止めてご覧になっている姿が見られ、嬉しく思っております。
これからも地域に開かれた保育園になって行きたいと考えておりますのでご支援よろしくお願致します。

SDGs 推進室

室長 渡邊 菜都

当事業部は、顧客企業の三井不動産リアルティ株式会社様へ訪問し、障がいのある社員（以下メンバー）へサポートを行っております。

三井不動産リアルティ株式会社様では、メンバーを対象に上期と下期に定期的な面談を実施しております。

面談では、会社で困っている事、配慮事項や目標の確認の他、普段の頑張りやできるようなったこと、日頃の感謝などプラスの事を沢山お伝えするようにしています。

面談となると何を言われるのかと考え、構えてしまうこともあります。最初にプラスの事を沢山お伝えして、面談は自分の頑張りを評価してくれる、より良く自分が働くための場なんだと、前向きな気持ちで臨んでもらえるよう取り組みんでいます。

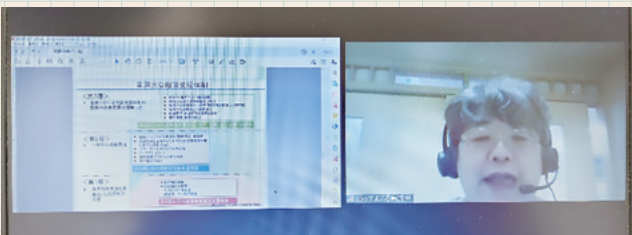
最近ではメンバーさんから「面談はいつやるんですか？」と聞いてくれる時もあり、楽しみにしてくれているようです。

ピックアップいたる

令和3年度第2回職員研修、8月28日に開催。

「社会福祉法人に求められる『地域における公益的な取組』とは」をはじめ、現場に臨む職員のための実践的な研修となりました。

令和3年8月28日（土）、令和3年度第2回職員研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今回もZOOMによるリモート研修となりましたが、175名の常勤職員が参加。谷山勝崇理事長の理事長就任の挨拶からスタートし、緊急時コーディネート業務の中核となる「地域生活支援拠点について」（すまいる高井戸・春山陽子センター長）、地域共生社会の実現に向け責務化した「社会福祉法人に求められる『地域における公益的な取組』とは」（杉並区社会福祉協議会・足田恵子氏）を受講しました。足田講師の講義では、地域における公益的な取組の5つの留意点・3つの要件の解説から、いたるセンターの取組例を8件挙げ、それに関わる職員のコментарを確認。また「気になる地域の困りごと」を参加者全員が書き出し、その解決が地域公益活動に繋がっていくことを学びました。各事業部の支援例では、イタル成城の「アート活動の支援と展開」（梅田英弥統括リーダー）を紹介。また「障害者支援施設向けオンライン職員研修『サポーターズ・カレッジ』」の新たな導入概要を説明し、「強度行動障害」の支援例の動画を視聴しました。現場を大切に、という新理事長の方針通り、職員が現場に臨む際に必要となる実践的なテーマの研修となり、受講後アンケートでは、テーマ・レクチャーともに95%の満足度を得ることができました。



「地域生活支援拠点について」の緊急時コーディネートの役割を説明する、すまいる高井戸・春山陽子センター長

いたるセンターの取組

通所施設における通院同行支援（無償）	通所施設における延長利用サービス（無償）	福祉ショップの運営	通所施設のボランティア受け入れ
② 家族支援力が乏しい利用者、とくにグループホーム利用者の通院同行支援を実施	② 通院等の家族都合により、契約時間外の見守りを実施。臨機応変に降所時間を延長	⑥ 通所施設と併設運営で、目黒区内14施設の自主生産販売を実施	⑧ 地域住民の方々のボランティアを受け入れ、障害理解を広げていく

① 地域の要支援者に対する相談支援 ② 地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援
③ 地域の要支援者に対する権利擁護支援 ④ 地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
⑤ 既存事業の利用料の減額・免除 ⑥ 地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
⑦ 地域住民に対する福祉教育 ⑧ 地域の関係者とのネットワークづくり ⑨ その他

いたるセンターの取組

通所施設における実習生の受け入れ	知的障害者移動支援従事者養成研修（無償）	成城8989ネットワーク	ネパール人利用者に対する地域生活支援
⑦ 福祉系大学や専門学校と連携し、ソーシャルワーク・ケアワーク実習を実施	⑦ 東京都指定研修を、テキスト実習のみで受講可能に。	⑧ 通所施設と同時期に隣接して整備された特別養護老人ホーム及び保育所と連携し、「防災を含めた交流を行う。」	⑨ 小規模保育事業所の利用者（外国人園児・保護者）に対する地域生活支援（行政手続き・通訳等）を行う。

① 地域の要支援者に対する相談支援 ② 地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援
③ 地域の要支援者に対する権利擁護支援 ④ 地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
⑤ 既存事業の利用料の減額・免除 ⑥ 地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
⑦ 地域住民に対する福祉教育 ⑧ 地域の関係者とのネットワークづくり ⑨ その他

社会福祉法人いたるセンターの「地域における公益的な取組」を8例列挙し、その分類と解説を行いました

いたる広報委員

発行責任者＝谷山 勝崇
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL：03-3392-7346
FAX：03-3391-8039
Eメール：info@itarucenter.com
HP：http://www.itarucenter.com/
発行日／2021年10月15日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。

いたる広報委員まで。



採用関連情報

就職合同説明会（新卒対象）

- ・ キャリタス福祉フォーラム | 2022年1月22日（土）TKPガーデンシティ渋谷
- ・ キャリタス福祉フォーラム | 2022年2月12日（土）TKPガーデンシティ渋谷
- ・ マイナビ医療福祉就活イベント | 2022年3月3日（木）ベルサール新宿グランド
- ・ あさがくナビ・就職博 | 2022年3月28日（月）東京都立産業貿易センター 浜松町館

ZOOMによる障がい者施設説明会&選考会（新卒対象）

2021年10月7日（木）・10月21日（木）・11月4日（木）・11月18日（木）
各9：30～ 会場は荻窪駅西口から徒歩3分、説明会参加のみでもOKです！

※お問合せ・お申込みは、法人本部・人事採用担当：山本義彦、中川まで
電話：03-3392-7346 Eメール：jinji@itarucenter.com

